



研究について

本校は、「共に学び合い、心豊かにたくましく生きる生徒の育成」を学校目標に掲げ、歯科保健では「歯・口の健康づくりを通して、自分の体や健康に関心を持ち、望ましい生活習慣の形成をすることができる生徒の育成」を重点に進めてきた。

実施内容

授業実践

★ブラッシング指導の実施

学園短期大学生による「1年生への歯肉炎を予防しよう」の歯科口腔指導実施

★養護教諭による歯科指導

歯肉炎の怖さや、なぜ歯肉炎になるのかについて、歯科指導実施

★学校歯科医による個別のブラッシング指導

歯科検診の結果、治療勧告されていないが、C OやG Oがあり、ブラッシングをすることで、健康な口腔に改善されると思われる生徒に対し、

- ・だ液テストをし、口の中のばい菌量をチェック
- ・C O・G Oの写真を見て、自分の歯ぐきの状態と比較する
- ・鏡をみながらブラッシング指導



学校行事・生徒保健委員会活動

★歯と口の健康に関する講演会

国立モンゴル医学大学 歯学部 岡崎好秀客員教授による「世界で一番聞きたい歯と口の話」の講演会を実施。

★歯と口の健康に関する標語の募集

保健委員が各クラスで呼びかけ、11月8日に「いい歯の日」をアピール。27年度は、学校賞「RKC高知放送社長賞」、28年度は、個人の部で「RKC特別賞」受賞。



歯みがきは
「ご飯の後の
ルーティーン」
「RKC特別賞」受賞

家庭・地域との連携

★学校便りや保健だよりによる啓発

本校の実態や、歯と口の健康に関する情報提供。

★1学期の期末懇談時に、保護者に対して、健口・健康チェックリストを返却し、自分の子どもの生活習慣を確認してもらい、家庭での指導に活かしてもらう。

★学校歯科医講演会の開催

27年度は、西部地区子どもを守る会で、西部地区の地域・PTA・教職員を対象に学校歯科医の野村圭介先生が「みんなで子どもたちの健口を守ろう」と題して、講演を行う。本校の実態や取組みを話していただき関心をもってもらうことができた。

